

授 業 科 目 名	臨床神経学	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	川口 哲郎	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>神経疾患は局所的なものから全身性のものまで多彩である。それぞれの疾患の症状、検査、病態を学習する。配布するレジメに沿って講義を行う。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>言語障害、嚥下障害など、言語聴覚士に必要な事項と関連付けながら各神経疾患を学ぶ。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	§ 1 神経内科学序論、		
第 2 回	§ 2 主要神経症候、運動麻痺、運動失調、錐体外路症候、姿勢反射障害と姿勢異常 痙攣とミオクロヌス、筋委縮、歩行障害		
第 3 回	感覚障害、疼痛、脳神経障害、構音障害、嚥下障害、球麻痺症候		
第 4 回	意識障害、めまいと失神、睡眠障害、精神症状		
第 5 回	高次脳機能障害		
第 6 回	自律神経症候		
第 7 回	§ 3 臨床検査、画像検査、電気生理学検査、その他の臨床検査、障害評価		
第 8 回	前半小テスト 解説		
第 9 回	§ 4 主な神経疾患、脳血管障害、脳腫瘍		
第 10 回	頭部外傷		
第 11 回	中枢神経感染症、パーキンソン病、パーキンソンニズム、不随意運動症		
第 12 回	認知症、てんかん		
第 13 回	脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患、脱髄性疾患、脊椎・脊髄疾患、末梢神経疾患		
第 14 回	ミオパチー、自律神経疾患、先天異常、代謝性疾患、中毒性疾患		
第 15 回	§ 5 神経難病、§ 6 神経系のリハビリテーション 後半小テスト 解説		
評価方法	定期テストの成績で評価する。（100%）		
教科書 参考図書	〔教科書〕 リハビリテーションのための神経内科学 第2版 安藤和也、杉村公也 著 医歯薬出版株式会社		
履修上の 留意点			
メッセージ	難しい用語が多いので 繰り返し覚えるよう努力することが重要である。		